

株主の皆様へ

ごあいさつ



株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第75期中間期（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
平成30年12月

代表取締役社長 黒田浩史

当中間期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、雇用環境の改善、設備投資の伸長などを背景に総じて緩やかな回復基調で推移し、当社グループの受注高は10,521百万円（前年同期比1,631百万円、18.3%増）と増加となりました。売上高は8,912百万円（前年同期比1,136百万円、14.6%増）と増収となりました。

利益面に関しては、単体業績が大幅増益となったことに加え子会社の収益が改善したことにより、営業利益は751百万円（前年同期比505百万円、205.1%増）、経常利益は716百万円（前年同期比453百万円、172.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益469百万円（前年同期比335百万円、249.5%増）と大幅な増益結果となりました。

通期の見通し

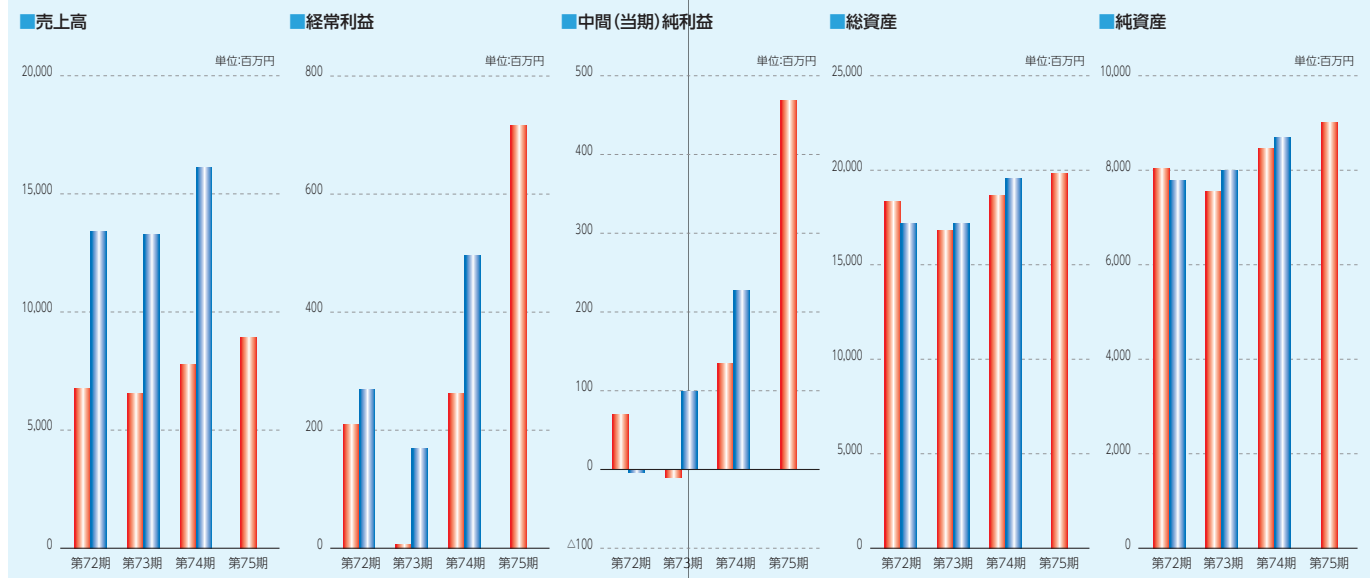
当社グループの通期の連結業績は、上期の実績を反映し、売上高17,800百万円、営業利益1,180百万円、経常利益1,120百万円、親会社株主に帰属する当期純利益720百万円と予想しております。先に発表した中期計画（右記）の当期目標を上回る見込みであります。

期末配当予想につきましては、現時点での業績見込みから総合的に判断し、1株当たり25円と期初の予想を上方修正しております。

今後は、中期経営計画を着実に実行することを通じ、さらなる収益基盤の強化と業績の一層の発展に邁進してまいります。株主の皆様には何卒ご理解ご支援のほどよろしくお願いいたします。

決算ハイライト

連結：中間期 ■ 通期 ■■



## ■ 駆動システム

当セグメントでは、半導体、液晶及び工作機械関連分野を中心に高水準な受注が継続していた中で、第2四半期会計期間に入り一部の業種からの発注を調整する動きがあったものの総じて順調に推移し、受注高は5,434百万円（前年同期比576百万円、11.9%増）となりました。売上高は生産体制増強に努めた結果、4,233百万円（前年同期比641百万円、17.9%増）となり、営業利益は494百万円（前年同期比210百万円、74.0%増）と大幅な増益結果となりました。

売上高 **4,233** 百万円

## ■ 金型システム

当セグメントでは、車載・家電・産業用各種モーター向けの受注が増加し、受注高は2,479百万円（前年同期比585百万円、30.9%増）となりました。売上高は、立ち上げが遅れていた新規大口プロジェクトの量産が開始されたこと等により、2,364百万円（前年同期比232百万円、10.9%増）と堅調に推移し、利益面でも営業利益152百万円（前年同期は営業損失27百万円）と黒字転換いたしました。

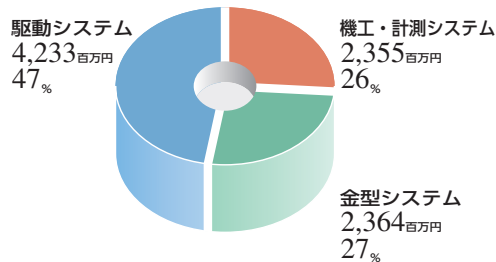
売上高 **2,364** 百万円

## ■ 機工・計測システム

当セグメントでは、要素機器の受注が好調に推移したことに加え、前第3四半期連結会計期間より持分法適用会社から連結子会社となった(株)ゲーシングの受注が加わったことにより、受注高は2,649百万円（前年同期比439百万円、19.9%増）となりました。売上高は要素機器と工作機械の売上の増加及び上記(株)ゲーシングの売上が加わったこと等により、2,355百万円（前年同期比232百万円、10.9%増）となり、利益面でも営業利益114百万円（前年同期比110百万円増）と大幅な増益となりました。

売上高 **2,355** 百万円

### セグメント別売上構成比

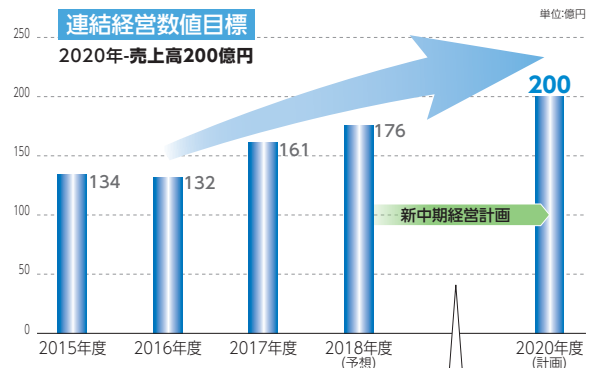


各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

## ■ 新中期経営計画の策定

当社は、2018年度～2020年度の3年間を対象とする中期経営計画2020を策定いたしました。中期経営計画2020の内容は、下記のとおりです。

当社グループは、「精密技術を通じて世界の産業の高度化をサポートする」ことを使命とし、3つの事業分野（駆動システム事業、金型システム事業、機工・計測システム事業）においてそれぞれ世界的にニッチトップとなることを目指します。この3年間は生産体制の強化に積極的に取り組み、中期的に営業利益10億円を安定的に確保する体制を確立することを目指します。



	2018年度	2020年度
売上高	176億円	200億円
営業利益	8.4億円	13億円
ROE	5.3%	7.9%

**中期目標**  
安定的に営業利益10億円を生み出す体制を確立する

※11月8日に修正発表した2018年度の業績予想は、上記目標を上回っております。

## ■ 子会社の再編

当社は中国において、2001年に平湖黒田精工有限公司 (KPP) を金型事業の中国展開のために設立し、2014年には平湖黒田捷納泰克商貿有限公司 (KJTP) を駆動システム商品および機工・計測システム商品の販売会社として立ち上げました。その後、KPPにおいては駆動システム商品の組み立てや端末加工を開始し、近年では事業における駆動システム関連の比率が増大してきています。このような背景の中、事業展開をより一層効率的に推進するために、今般両社の統合をすることを決定いたしました。形式としては、KPPを存続会社とし、KJTPを清算する形をとることとします。

加えて、前連結会計年度において持分法適用会社でありました株式会社ゲーシングを連結子会社化することとしました。これらの子会社再編を通して、グループ経営を強化しより一層のシナジーを実現してまいります所存です。

## ■ 中国深圳事務所開設

2018年7月に、中国の深圳に事務所を開設しました。ビジネスチャンスが豊富な華南地区において、当社の営業体制を強化することが目的です。まだ現地スタッフ2名の小さな所帯ですが、今後華南地区において深圳事務所が大きく発展するよう努力してまいります。

## ■ JIMTOF2018への新商品の出展

11月1日～6日、第29回日本工作機械見本市 (JIMTOF2018) が開催されました。当社ブースでは、『SMART』をキーワードに「精密加工」と「精密測定」の総合力を発揮した新開発のソリューションを展示いたしました。精密成形平面研削盤GS-30Vsは、左右送り機構に自社製高精度ボールねじを搭載、当社史上最小サイズを実現しました。コラム移動型精密平面研削盤GS-86CVsには、機上計測システムやウルトラファインパブルなど豊富なアプリケーションを搭載して実演展示を行いました。また、全機に搭載した新開発の対話型ソフト『GS-Smart Touch®』の卓越した操作性を実感していただきました。



# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期 末 平成30年3月31日現在	当第2四半期末 平成30年9月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流 動 資 産	9,553	10,000
固 定 資 産	9,821	9,819
有 形 固 定 資 産	5,744	5,807
無 形 固 定 資 産	1,276	1,226
投 資 そ の 他 の 資 産	2,800	2,785
資 産 合 計	19,375	19,819
<b>(負債の部)</b>		
流 動 負 債	6,582	7,195
固 定 負 債	4,094	3,605
負 債 合 計	10,677	10,800
<b>(純資産の部)</b>		
株 主 資 本	6,269	6,685
資 本 金	1,875	1,883
資 本 剰 余 金	1,451	1,459
利 益 剰 余 金	2,952	3,351
自 己 株 式	△9	△9
その他の包括利益累計額	2,266	2,176
その他有価証券評価差額金	986	949
土 地 再 評 価 差 額 金	814	814
為 替 換 算 調 整 勘 定	405	357
退職給付に係る調整累計額	59	55
非支配株主持分	161	156
純 資 産 合 計	8,697	9,019
負 債 ・ 純 資 産 合 計	19,375	19,819

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日	当第2四半期累計期間 平成30年4月1日～ 平成30年9月30日
売 上 高	7,776	8,912
売 上 原 価	5,795	6,275
売 上 総 利 益	1,981	2,637
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,734	1,885
営 業 利 益	246	751
営 業 外 収 益	130	98
営 業 外 費 用	114	133
経 常 利 益	262	716
特 別 利 益	50	—
特 別 損 失	61	24
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	252	691
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	131	226
法 人 税 等 調 整 額	△1	△5
四 半 期 純 利 益	121	470
非支配株主に帰属する四半期純利益	△12	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	134	469

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日	当第2四半期累計期間 平成30年4月1日～ 平成30年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	340	304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136	△481
財務活動によるキャッシュ・フロー	238	△206
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△22
現金及び現金同等物の増減額	452	△406
現金及び現金同等物の期首残高	1,936	2,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,388	2,120

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■会社の概要

商号 黒田精工株式会社  
 本店 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16  
 創業 1925年(大正14年)  
 資本金 18億8千3百万円  
 従業員数 425名

## ■連結対象会社の状況

連結子会社	持分法適用関連会社
クロダインターナショナル株式会社 クロダプレジジョンインダストリーズ(M) (マレーシア) 平湖黒田精工有限公司 (中国) 永昇電子株式会社 韓国黒田精工株式会社 KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国) Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ) KURODA JENA TEC INC. (米国) 平湖黒田捷納泰克商貿有限公司 (中国) 株式会社ゲーシング	日本金型産業株式会社

## ■当社グループの主要な事業

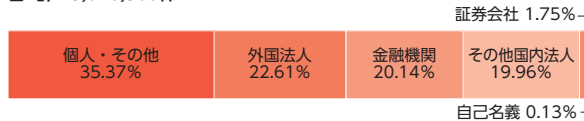
セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機工・計測システム	保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、電子機器、コンプレッサ

## ■株式の状況

発行可能株式総数 ..... 14,960,000株  
 発行済株式の総数 ..... 5,628,566株  
 株主数 ..... 2,906名

## ■所有者別株式分布状況

合計 5,628,566株



## ■大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
パーカー ハネフィン マニュファクチャリング ユーカー リミテッド	942	16.77
株式会社みずほ銀行	276	4.91
黒田 浩史	238	4.23
ファンナック株式会社	196	3.50
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	196	3.50
株式会社日本政策投資銀行	171	3.05
ユーログループエスピーエー	168	3.00
株式会社横浜銀行	149	2.66
黒田精工取引先持株会	142	2.53
三井住友信託銀行株式会社	123	2.19

\* 持株比率は自己株式(7,438株)を控除して計算しております。

## ■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月下旬  
 基準日 毎年3月31日  
 定時株主総会・期末配当  
 公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。  
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>  
 ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

## 株式に関する手続きについて

○証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
支払期間経過後の配当金に関するご照会	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
株式事務に関する一般的なお問合せ	TEL. 0120-782-031 (フリーダイヤル)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に登録された株式

特別口座に登録されている株式につきましては、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお願いいたします。  
 株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

[手続き書類のご請求方法]

・インターネットによるダウンロード <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

## 黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16  
 TEL / 044-555-3800 (代表) FAX / 044-555-3524  
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>

